

統計月報

統計月報 平成28年4月
 公益財団法人 城北労働・福祉センター
 〒111-0021 東京都台東区日本堤2-2-11
 TEL 03(3874)8089 FAX 03(3871)2460
<http://homepage3.nifty.com/johoku/>

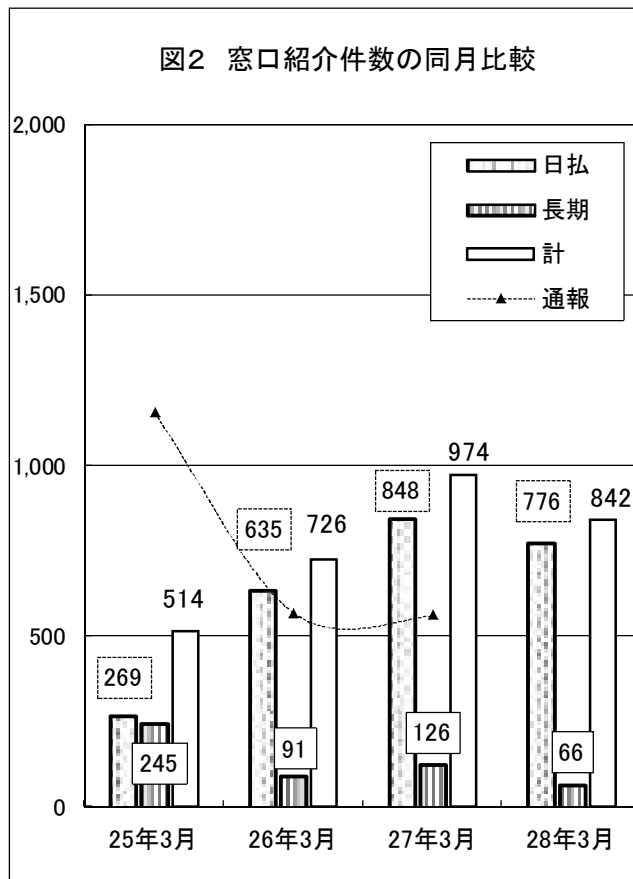
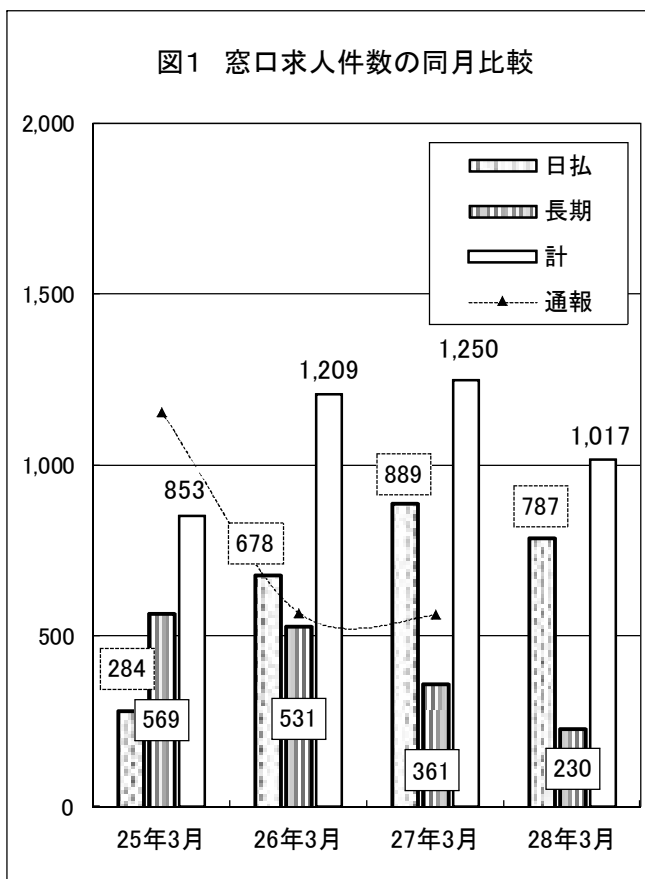
～職業紹介事業の実績(3月)～

(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数

職業紹介事業におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおりであった。平成28年3月の窓口求人件数は1,017件で、27年3月に比べ233件の減少(△18.6%)となった。

窓口紹介件数は842件となり、27年3月に比べ132件の減少(△13.6%)となった。

窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比72件の減少(△8.5%)、長期は60件の減少(△47.6%)となった。



窓口求人	25年3月	26年3月	27年3月	28年3月	前年比	増減率(%)
日払	284	678	889	787	△102	△11.5
長期	569	531	361	230	△131	△36.3
計	853	1,209	1,250	1,017	△233	△18.6

(参考)

通報	1,157	569	563			
求人総数	2,010	1,778	1,813			

窓口紹介	25年3月	26年3月	27年3月	28年3月	前年比	増減率(%)
日払	269	635	848	776	△72	△8.5
長期	245	91	126	66	△60	△47.6
計	514	726	974	842	△132	△13.6

(参考)

通報	1,157	569	563			
紹介総数	1,671	1,295	1,537			

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数(人数×日数)

*「通報」とは、登録事業所へ労働者が直接就労した場合で、かつ、その事業所から通報があった件数であるが「通報」は、平成27年12月末をもって廃止した。

(2) 紹介区分別

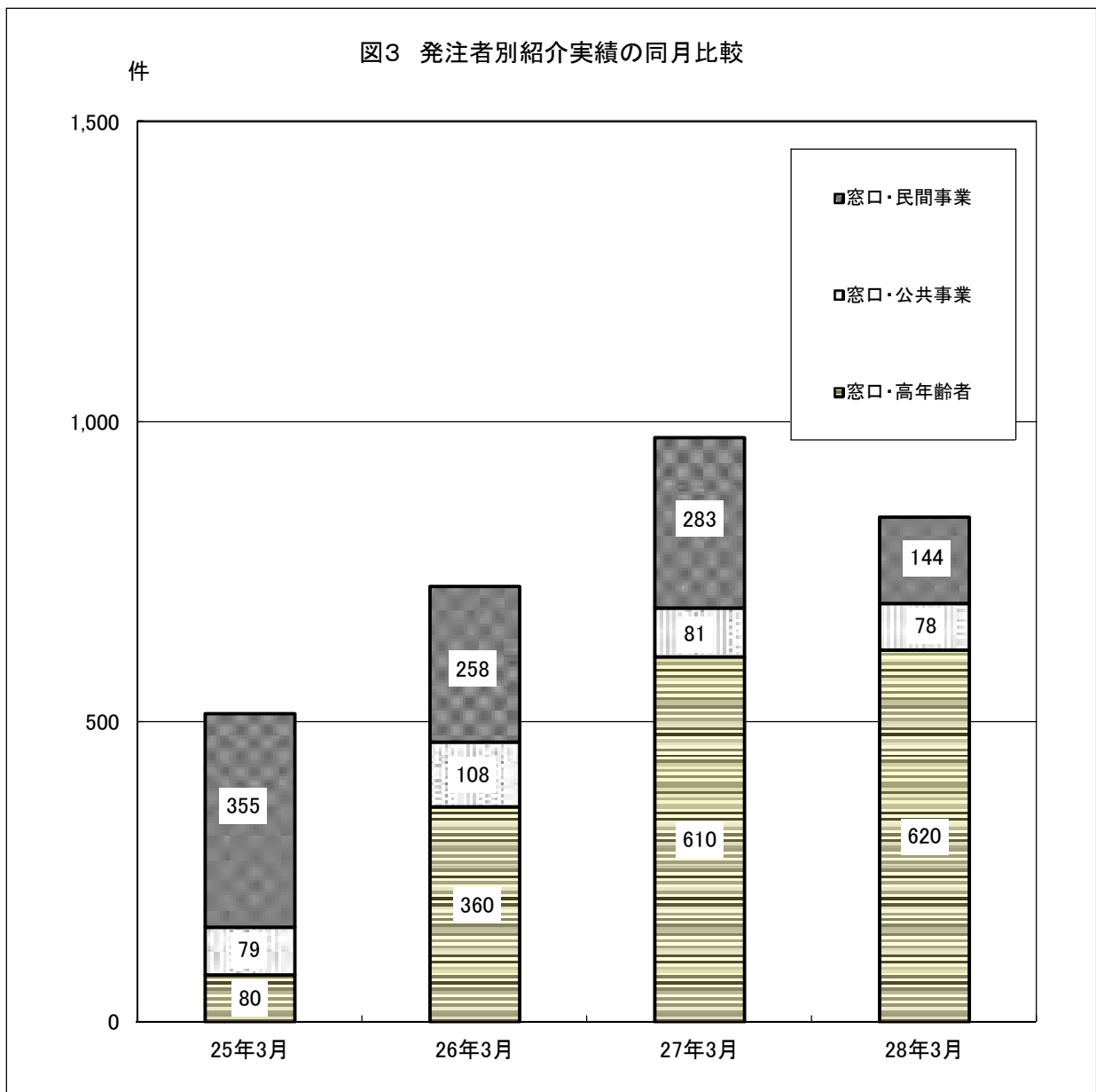
センター窓口からの紹介実績は、紹介区分（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられ

- ① 民間事業
- ② 公共事業（特別就労事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）
- ③ 東京都の「高齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ① 「民間事業」は139件の減少（前年同月△49.1%、日払が103件の減少、長期は36件の減少）
- ② 「公共事業」は3件の減少（前年同月△3.7%）
- ③ 「高齢者特別就労」は10件の増加（前年同月1.6%）

窓口計では、132件の減少（前年同月△13.6%）となった。



	25年3月	26年3月	27年3月	28年3月	前年比	増減率(%)
窓ロ・民間事業	355	258	283	144	△139	△49.1
窓ロ・公共事業	79	108	81	78	△3	△3.7
窓ロ・高齢者	80	360	610	620	10	1.6

窓口計	514	726	974	842	△ 132	△ 13.6
-----	-----	-----	-----	-----	-------	--------

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、「『何人』に仕事を紹介したか」という観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり平成28年3月の紹介実数(=窓口計)は779人で、27年3月に比べ75人の減少(△8.8%)となった。

民間事業では、日払いの紹介実員数は84人(前年187人)と103人の減少となり、長期は2人(前年5人)と3人の減少となった。輪番による公的就労を除いた、民間ベースの窓口紹介実績は一日平均3.9人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		27年3月	28年3月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	192	86	△ 106	△ 55.2
	公共事業	82	73	△ 9	△ 11.0
	高齢者特別就労	580	620	40	6.9
紹介実員数(窓口計)		854	779	△ 75	△ 8.8

※労働者の高齢化、建設現場の機械化、就業構造の変化などにより、日雇労働市場が衰退し、野宿が常態化している労働者も少なくない。

こうした状況の中で、都や区の公共事業を受注した事業所に積極的に働きかけて、センターに未登録であれば登録を促すとともに、登録済みの事業所にも定期的に訪問して、建設・土木だけでなく、高齢者にも従事しやすい清掃や造園の民間求人確保に努めている。

～生活相談・応急援護事業の実績(3月)～

(1) 受付総数・相談件数(一日当たり受付数・相談数)

図5のとおり平成28年3月の相談受付件数(=相談数(計))は642件で、27年3月に比べ226件の減少(△10.3件/1日平均)となり、75か月連続のマイナスとなった。

新規来所件数は13件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

	月総数				一日平均		
	27年3月	28年3月	増減数	増減率(%)	27年3月	28年3月	増減数
受付	834	606	△ 228	△ 27.3	37.9	27.5	△ 10.4
新規	13	13	0	0.0	0.6	0.6	0.0
医療相談	22	13	△ 9	△ 40.9	1.0	0.6	△ 0.4
福祉法(生保等)	11	6	△ 5	△ 45.5	0.5	0.3	△ 0.2
労働相談	31	13	△ 18	△ 58.1	1.4	0.6	△ 0.8

応急援護	661	467	△ 194	△ 29.3	30.0	21.2	△ 8.8
その他相談	143	143	0	0.0	6.5	6.5	0.0
相談数(計)	868	642	△ 226	△ 26.0	39.5	29.2	△ 10.3

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比103件の減少(△33.9%)、給食相談は73件の減少(△29.3%)、物品相談は9件の減少(△0.1%)、交通費相談は9件の減少(△50.0%)となった。

なお、3月の開所日数は、本年度と26年度は22日間、25年度と24年度は20日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

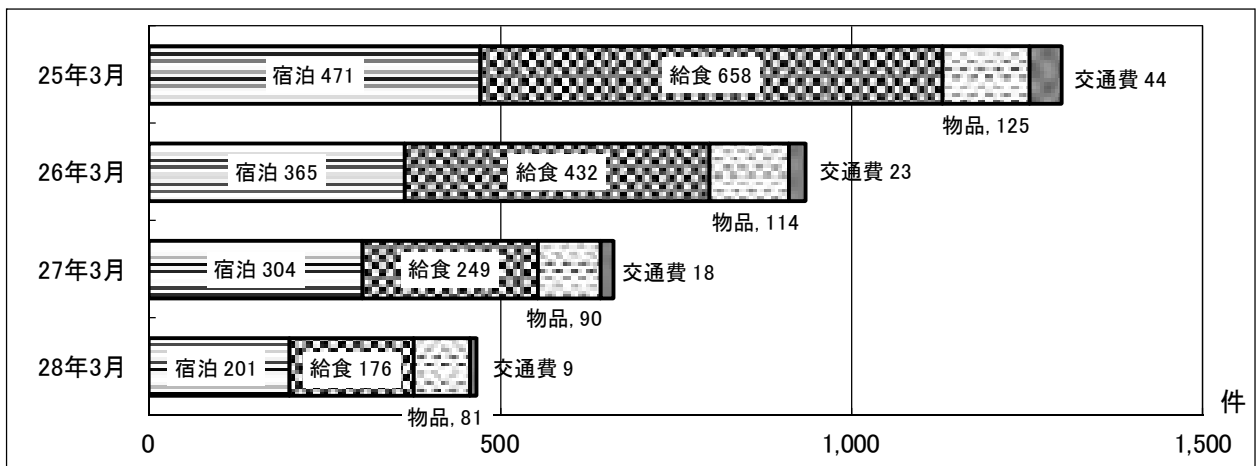


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

